

# 三国湊 街中散策マップ



- 1 三国神社**  
御祭神は大山咋命と継体天皇。三国湊の栄華と共に歩んできた神社であり、永く地元住民の信仰の対象となっています。境内地には木立神社や隨身門(福井県指定有形文化財)などがあり、毎年5月に行われる北陸三大祭りのひとつ「三国祭」をはじめ、様々な祭が行われています。木々に覆われた境内が厳かな雰囲気をかもし出しています。
- 2 森田家本家**  
三国湊の豪商・森田家は加賀藩前田家から舟免許を受けて回漕に従事し、御用問丸として重要な役割を担いました。後裔は明治期に銀行業と倉庫業に転じ、近代の福井財界に多大な功績を残しています。天正3年(1575)の織田信長朱印状など文化財指定の古文書が伝わっています。
- 3 宮太旅館**  
元々は廻漕業を生業としていましたが、明治の初めに旅館屋としても営業を行うようになりました。大規模な客棧を建てた建物。
- 4 松ヶ下西光寺**  
寛永5年(1628)開山の浄土宗鎮西派。市の文化財で平安中期の木造聖観音立像や、三国湊を代表する遊女の一人「三国小女郎」のものと思われる墓石があります。
- 5 8 12 13 20 山車蔵**  
三国祭で奉納する各区ごとの山車(やま: 屋台・山車人形あわせて約6m前後になる)が収められている蔵。
- 6 元三国大野屋**  
越前大野藩の産物会所(今でいう商社)。三国独特のかぐら建ての建物。
- 7 旧森田銀行本店** ◆ 0776-82-0299 / 9:00~17:00 / 月曜定休  
中世から廻船問屋として活躍した豪商・森田家が、明治半ばに創立した森田銀行です。大正9年に建てられたこの建物は、県内に現存する最古の鉄筋コンクリート建造物で、近年まで福井銀行三国支店として営業されていました。平成に入ってからの復元工事を行い、現在では登録有形文化財として一般公開されるとともに、ギャラリーやコンサートにも使われています。
- 9 三国湊町家館** ◆ 0776-82-8552 / 9:00~17:00 / 水曜定休  
代々商いを営んでいた梅谷家を改築し、平成18年に三国湊町家館として生まれ変わりました。ボランティアガイドが常駐しています。トイレや休憩所その他、奥の間には集会場機能も完備されています。
- 10 旧岸名邸** ◆ 9:00~17:00 / 水曜定休  
新屋という屋号を持つ材木商岸名家のかぐら建ての建造物で、大正2~3年頃の状態で復元されています。先祖には、江戸中期に結成された「日和山吟社」初代宗匠・岸名作義がいます。明治や大正の三国湊の裕福な町家の生活様子を偲ばせます。
- 11 三国湊屋** ◆ 0776-81-3921 / 10:00~18:00 / 水曜定休  
三国湊街中ツーリストセンターとして平成18年にオープン。街中散策・水上バスクルージング・レンタサイクルなどの総合受付窓口にもなっています。また、ライブや演劇・パフォーマンスなどの文化イベントも数多く行っています。
- 14 高見順生家**  
明治40年に三国に生まれた作家「高見順」生家。文化功労賞受賞。生まれ故郷三国についてかかれた詩「荒磯」が詩集「死の淵より」に収められています。
- 15 日和山金鳳寺**  
永正年間(1504~1520)に開山された曹洞宗禅寺。湊を見下ろすこの寺は、かつて船頭たちが風などの様子を日和見し出港の具合を決めていた事から、日和山と呼ばれました。しかし、ここには船乗り達だけが集まったわけではなく、江戸中期には俳諧を愛好する商人たちが「日和山吟社」の結社を生み、同社宗匠の句碑や、芭蕉の功績を偲んだ「初雪塚」が残っています。また、彫刻家「島雪斎」の墓も建てられています。
- 16 思案橋**  
かつての出村遊郭の入り口にあり、川上の福井藩三国湊と川下の丸岡藩滝谷出村の境目だったところ。遊郭にこうか帰ろうか思案したところ=「思案橋」とよばれています。
- 17 永正寺**  
江戸時代の女流俳人であり遊女、後に遊郭の楼主となった「哥川」の菩提寺としても知られる真宗大谷派寺院。永正寺には哥川直筆の俳句や手紙・肖像画・哥川の打掛にて制作した衝立・その他高浜虚子ら著名俳人の作品など数々の遺品遺物が残っています。
- 18 瀧谷寺**  
三国で最も古い寺院の一つ、真言宗智山派の「瀧谷寺」は、永和元年(1375)に開かれました。薬師如来が御本尊。毎年6月に行われる「火渡り」は有名。国宝や重文をなど貴重な寺宝も多く、高濱虚子・伊藤柏翠・森田愛子の句碑などもあります。境内地は古樹や季節を彩る木々も多く、国指定名勝瀧谷寺庭園もあり、幽玄な雰囲気にも包まれています。
- 19 ONO MEMORIAL-BLUE CAKE**  
◆ 0776-81-3556 / 10:00~16:00 / \*3月から11月までの金土日曜日・祝日のみ開館  
ジャンクアートの鬼才といわれた小野忠弘のかつての自宅兼アトリエとその横に建てられた、蒼い海を見下ろす丘に生まれた小さな美術館。小野野田が最も好きだった色コバルトブルーのタイルを建物の外観に張り巡らし、自然光を取り込む大きな窓が海側と山側に開かれているその形状から「BLUE CAKE」と名付けられました。自然と作品と鑑賞者が一つに融け合う不思議な空間です。
- 21 みくに龍翔館** ◆ 0776-82-5666 / 9:00~17:00 / 水曜定休  
丘の上に建つ洋風五層八角のこの建物は、三国の郷土資料館。その外観は、明治時代にオランダ人工師エッセルの設計により建築された「龍翔小学校」の外装を模して復元されました。展示物は歴史・自然・民俗・芸術・文学など、三国に関する様々なモノが対象で、特に北前船で繁栄した三国湊の資料もたくさん展示され、充実した内容になっています。

三国湊の謂われ書設置場所 三国詩歌文学館碑設置場所 P 駐車場 WC トイレ

距離のめやす  
三国駅~(駅前通り)~三国湊きたまえ通り... 徒歩5分

## 三国の主な観光スポット

<p><b>■東尋坊</b> 日本海の景勝「東尋坊」。世界に三箇所(日本では唯一)しかないと言われる輝石安山岩の柱状節理が作り出す断崖絶壁は、国の名勝・天然記念物に指定されています。切り立った高い崖から見下ろす日本海は、必見の価値ありです。比較的波の穏やかな時は、遊覧船の運航もあり、海の上から眺める景色も楽しめます。また、三国は「日本の夕陽百選」にも選ばれています。夕陽時の東尋坊散策もおおすすめです。坂井市三国観光協会 0776-82-5515 / 9:00~17:00</p>	<p><b>■三国温泉ゆあぼ〜と</b> 夕陽が沈むサンセットビーチが一望できる「かもめの湯」と、日本海にそそぎ込む九頭龍川が望める「みなとの湯」があり、それぞれパノラマサイズの展望風呂が自慢。(三国には全部で3種類のお湯が出ています。各宿泊施設でのんびり温泉につかるのもおすすめです。) 0776-82-7070 / 10:00~22:00 / 水曜定休</p>	<p><b>■越前松島水族館</b> 越前松島にある日本海に面した水族館。ふれあいをテーマに、アザラシ、サメ、巨大なタコ、機種の生物などにさわったり、魚やカメにエサをあげることが出来ます。たのしいイルカショーやかわいいペンギンのお散歩も好評。その他、さまざまな日本海のおもしろい魚などを展示しています。 0776-81-2700 / 通年9:00~17:30 夏期9:00~22:00 冬期10:00~16:30 / 年中無休</p>
---	--	---